



だから、僕はナイフを買った。

555Label Presents

Simple Life Syndrome

a Sumishi Araki film

YUKI HATANAKA / KEIKO KOHTARI / KYO YAMASAKI / AYAKA MAEDA / HUMIAKI KOBAYASHI / SHIN MIZUMORI
NATSUMI OGI / NAO TERADA / RYUSEI YAMANE / FUMIKO KOBAYASHI / CHIHIRO KAKIMOTO / MAIKO MIZOHARA / FUMIKO IZUMI
Computer Graphics KENJI NAGASAWA Assistant Director HISAYUKI KIMURA / KOTA NISHITANI / NAOKO AKIYAMA
Manager YUKARI OHNISHI Producers SHIMAKO YAMANAKA / AYA MATSUNAMI Written and Directed by SUMISHI ARAKI
Produced by 555Label 3-2-19-301, KAIGAN-DORI, CHUO-KU, KOBE-SHI. 650-0024
Telephone and Fax 078 333 0151 URL <http://www.kh.rim.or.jp/~sumishi> ©1999 SIMPLE LIFE COMMITTEE

映画、小説同時リリース!!

今もなお続く少年事件の解答がここにある!!

時代の寵児が誕生した。若者の心を語り、その時代性を的確に言い得てしまう作風で既に数々の作品はバイブルと化している——彼の名前は荒木スミシ。

そんな彼のメジャー・デビュー作は破格のものとなった。

小説「シンプルライフ・シンドローム」を幻冬舎から発表と同時に、

自ら監督した同名の映画版も東京・大阪で同時公開と

まさにメディアの枠を越えてのデビューが実現した。

物語は14才の少年カオルがナイフで上級生を刺してしまう「ナイフ」、

そして殺人犯との危険な恋を追い求めるイズミ「部屋」、

さらに自願願望のある女子高生ヒロミ「17」、という3つの物語が語られ、

その全てを見たときラストシーンには驚くべき展開が隠されている。

映画版の出演者は全てオーディションで選出された神戸の若者。

制作期間は2年にも及び、スタッフも全て神戸の一般ボランティアの手で制作された。

神戸の「あの事件」の後も少年犯罪は後を絶たず、事件に影響され犯罪を犯していく者まで現れ始めた。

その一方で事件のことを考え「創造」し、プラスの力に変えていった若者もいるんだということ

この映画を見て、感じてほしい。

そして新たな時代の才能に驚いてほしい。



「この作品を見ることは僕にとってサティを聴くようなもの。観終わった時生きていく喜びと一緒に、同時に受けとめる用意が始まるだろう」
…篠原 一 (作家)

「心のなかにぽっかりとあいた穴を持つという点では皆同じことなのだ。その空洞の前では『勝者/敗者』『健康/病』といった分類は何も意味を持たない。この作品は、悲しいくらい平等な現代の状況を、限りない慈愛の視線でさっくりと切り取っている」…香山 リカ (精神科医)

9/9~9/15 モーニングショー!

土日 10:45 平日 11:20 より1回上映

特別鑑賞券 ¥1400 絶賛発売中

(当日一般 ¥1700/学生 ¥1400のところ)

劇場窓口にてお求めの方に限り特製ポストカードプレゼント!

東京・シネマ下北沢にて9/1~レイトショー決定!

ホワイティ梅田泉の広場M-10右上がる東へ5分

扇町ミュージアムスクエア

tel/06-6361-0088 URL/http://www.ams.gr.jp

9/9 出版+公開記念 Special Event

『トランスバランス2000』

「トランスバランス」とはフランス語で透明——。この言葉が今の若者文化を象徴しているといっても過言ではないでしょう。「シンプルライフ」の出版・公開を記念するこのトークイベント「トランスバランス2000」において「透明な若者の心」に荒木スミシとゲストが迫ります!

荒木スミシ+ビッグゲスト来場!

(サイン会あり) **今一生氏**

PM2:00より(開場 PM1:30) 劇場隣レストラン「STAFF」にて。料金800円(当日券のみ)。別途飲食代がかかります。

荒木スミシ監督作品 1999/日本/カラー/ビデオ作品/140分 ©1999シンプルライフ製作委員会 第3回神戸100年映画祭上映作品

●原作小説「シンプルライフ・シンドローム」(荒木スミシ著) 幻冬舎より8/25発売

●前売り券は、扇町ミュージアムスクエア、チケットぴあ、ローソンチケットにてお求め下さい。